

登録コード	A3595451	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	入枝 泰樹
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					科学的疑問に答えるべく研究課題に取り組み、関連する知識・技術を身に着ける。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					科学的疑問に答えるべく研究課題に取り組み、関連する知識・技術を身に着けるだけでなく、実験結果を論理的に解釈できるようになる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					科学的疑問に答えるべく研究課題に取り組み、関連する知識・技術を身に着ける。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					科学的疑問に答えるべく研究課題に取り組み、関連する知識・技術を身に着けるだけでなく、実験結果を論理的に解釈できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	設定したテーマに関連する実験を行いながら、病原系状菌と植物の感染・防御戦略を分子的に解明します。						
(5)授業計画	1．病原系状菌の宿主植物感染機構 炭疽病菌を対象に、どのように宿主植物への感染を成立させるのか研究を行います。 2．植物の病原系状菌に対する応答と免疫機構 植物がどのように炭疽病菌の攻撃を防ぐのか研究を行います。 3．将来的な系状菌病防除技術の確立 得られた研究成果をもとに、新しい炭疽病防除法の開発を目指します。 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。						
(6)自主学習の指針	教員と相談しながら進めます。						
(7)成績評価の基準	以下を基準に総合的に判断します。 ・研究の目的が明確であるか。 ・目標達成のために論理的で適切な手段・方法を活用したか。 ・研究成果を専攻研究論文や学術論文としてまとめることができたか。						
(8)事前事後学習の内容	自身の研究に関連する情報を様々な手段を活用して適宜調べることが必要です。						
(9)テストやレポートの予定	執筆した専攻研究論文（学術論文も含む）を評価します。						
(10)成績評価の方法	専攻研究の発表と執筆論文の内容で評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室にて随時対応します。						
(12)履修上の注意	自主的に考えながら取り組むことを心掛けてください。						
【教科書】	特になし。						
【参考書】	随時指示します。						